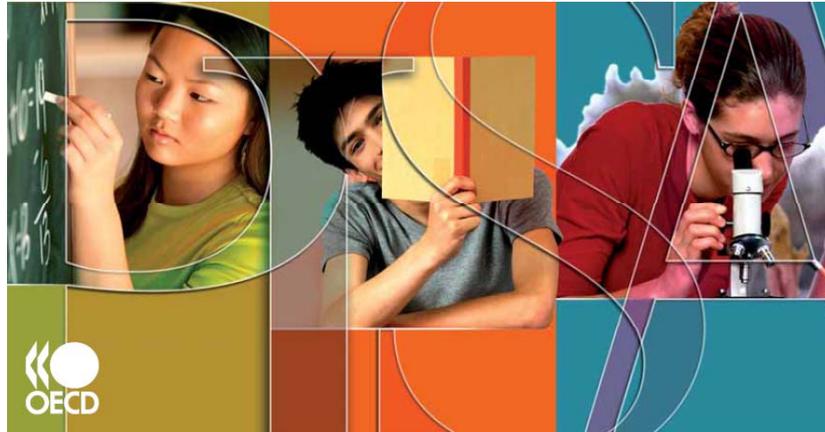


PISAが示すもの

- OECD・生徒の学習到達度調査(PISA)
高校1年生対象

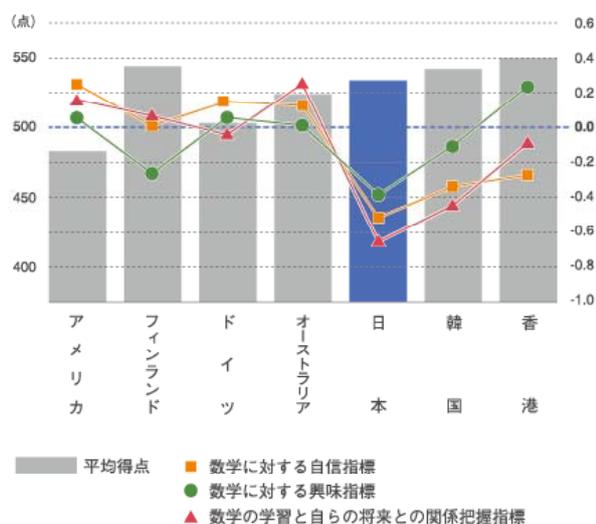
PISA – THE OECD PROGRAMME FOR INTERNATIONAL STUDENT ASSESSMENT



13

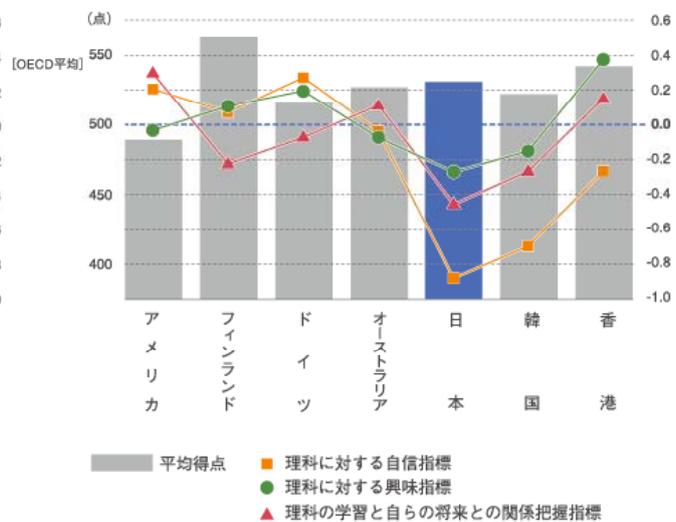
PISA2003

数学的リテラシー (PISA2003より)



PISA2006

科学的リテラシー (PISA2006より)



*注: グラフ中の各指標は、各設問に対する肯定的回答(全くそう思う・そう思う)のOECD加盟国平均を0.0として算出されたものです。

「自信指標」=「理科(数学)の内容ならすぐに理解できる」など5項目の設問に対する回答に基づく

「興味指標」=「科学(数学)についての本を読むのが好きだ」など5項目の設問に対する回答に基づく

「自らの将来との関係把握指標」=「理科(数学)の科目を勉強することは、将来の仕事の可能性を広げてくれるので、私にとってやりがいがある」など5項目の設問に対する回答に基づく

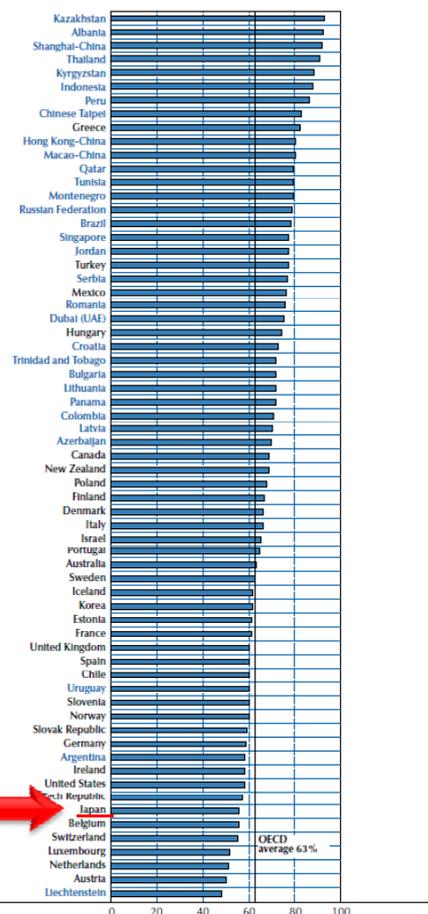
PISA 2009

【分野別の結果】



「楽しむために読書をする」
生徒の割合
(Percentage of students who read for enjoyment)

Figure III.2.3
Percentage of students who read for enjoyment



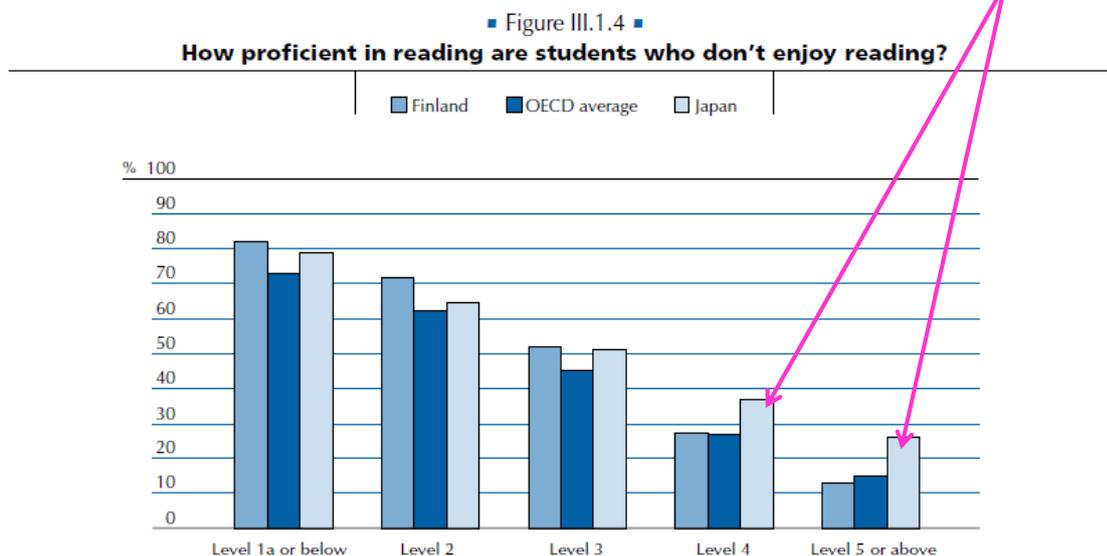
日本

特異傾向を示す国としての 日本への注目

【読解力レベル別に見た
「読書は嫌い」の生徒が占める割合】

成績上位層でも
「読書は嫌い」が多い日本

※「嫌い」でも「できる」日本の生徒



Note: This figure shows the proportion of students with below average levels of enjoyment of reading (compared to the average student in the country), by proficiency level on the reading scale.

日本の教育の本当の危機

- 学びに対する興味関心の希薄さ
- 将来との関連性が見えないままでの学び
- 受験終了後に剥落する「知」の危険性

科学技術に関する意識調査

—2001年2～3月調査—
文部科学省 科学技術政策研究所

調査時期：平成13年2月23日（金）～3月23日（金）

調査対象

(1)設計標本数：3000 標本

(有効回収数 2146 人、有効回収率 71.5%)

(2)対象地域・対象者：全国 18 歳以上男女（69 歳まで）

(3)抽出法：住民基本台帳からの層化2段無作為抽出法

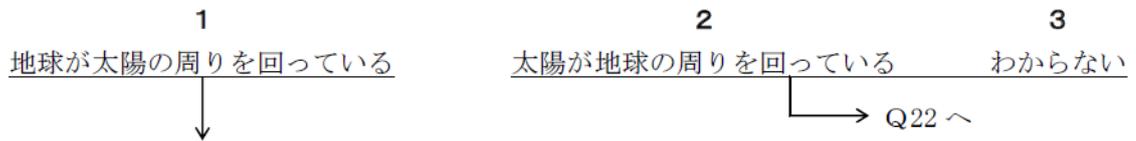
調査方法：調査員による面接聴取（訪問面接法）

- (9)大陸は何万年もかけて移動しており、これからも移動するだろう…………… 1 …………… 2…………… 3
- (10)現在の人類は原始的な動物種から進化したものである… 1 …………… 2…………… 3
- (11)喫煙は肺がんをもたらす…………… 1 …………… 2…………… 3
- (12)ごく初期の人類は恐竜と同時代に生きていた…………… 1 …………… 2…………… 3
- (13)放射能に汚染された牛乳は沸騰させれば安全である… 1 …………… 2…………… 3

Q20. 光と音はどちらが速いと思いますか。

- 1 光 2 音 3 どちらも同じくらい 4 わからない

Q21. 地球が太陽の周りを回っていますか、太陽が地球の周りを回っていますか。



S Q. 地球が太陽の周りを回るのにどれくらいかかりますか。「1日」ですか、「1ヵ月」ですか、「1年」ですか。

- 1 1日 2 1ヵ月 3 1年 4 その他 () 5 わからない

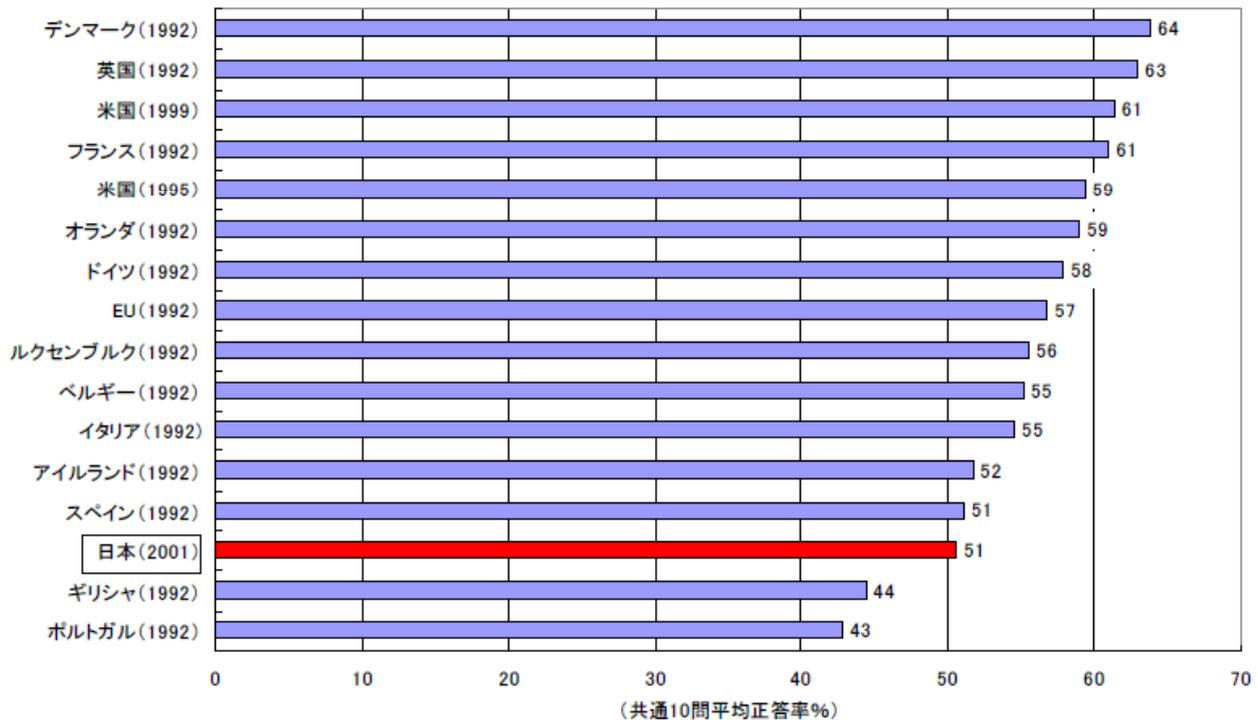


図 2-16. 科学技術の基礎的概念理解度 15ヶ国地域共通 10問平均正答率比較